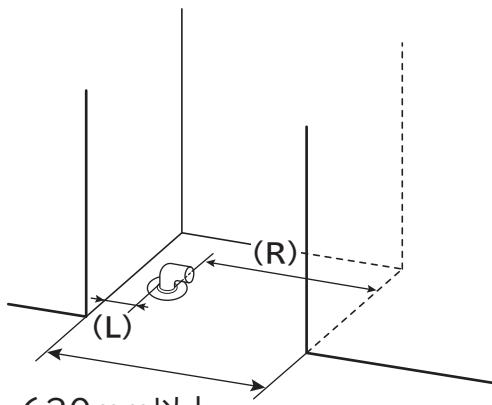
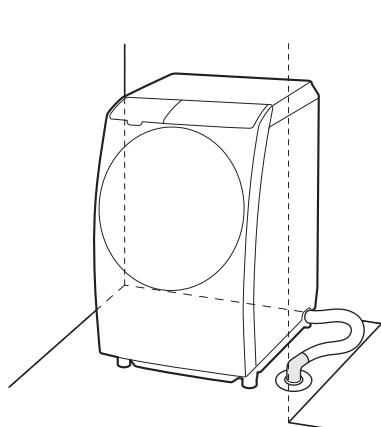
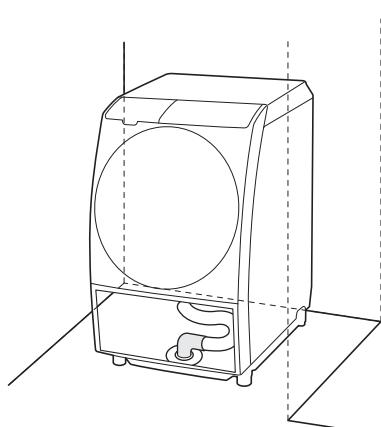
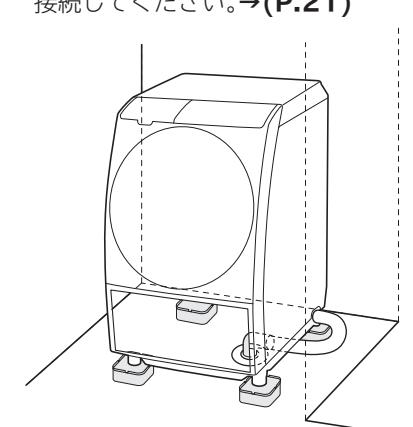
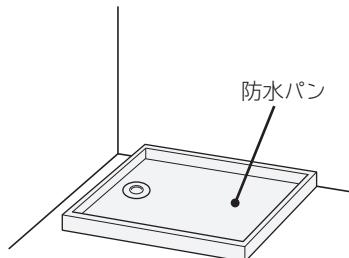


据え付けの流れ

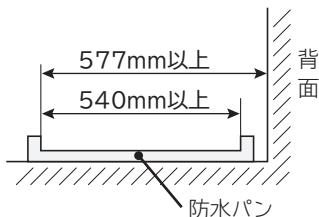
- 下記以外の条件では、据え付けできません。
- 据え付け条件によっては、下記手順が異なる場合があります。

防水パンの有無	防水パンがない場合		
設置場所	 <p>据え付け場所の幅は、620mm 以上必要 ※本体の両側に壁があるときは、据え付け作業のため 675mm 以上必要となる場合があります。</p>		
排水口位置の確認	(L) もしくは (R) が 595mm 以上の場合	排水口がほぼ真下にある場合	(L) もしくは (R) が 595mm 未満かつ、ほぼ真下にない場合 → A (P.19)
			

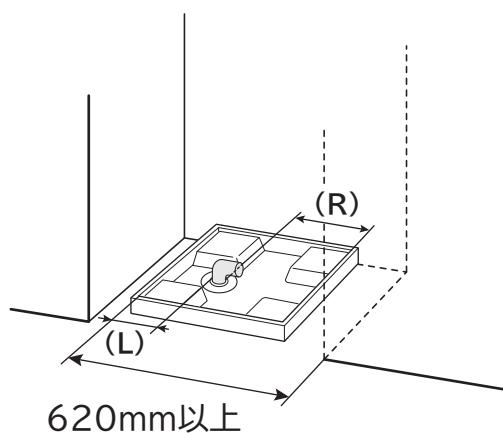
防水パンが設置されている場合



【奥行き方向の据え付け条件】



※540mm以下の場合は
据え付けできません。



据え付け場所の幅は、620mm以上必要

※本体の両側に壁があるときは、据え付け作業のため
675mm以上必要となる場合があります。

(L) もしくは (R) が
570mm以上の場合

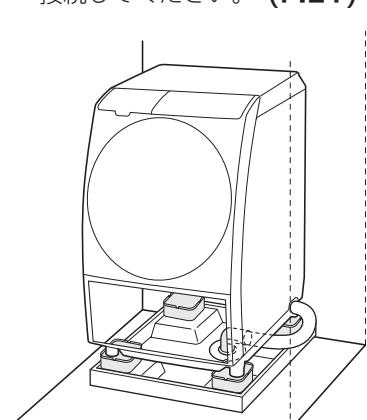
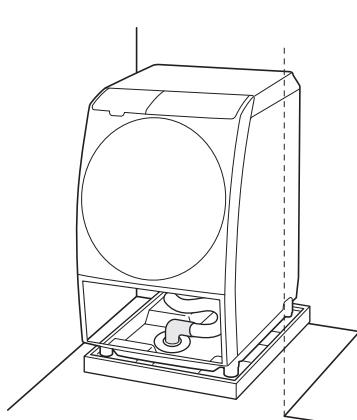
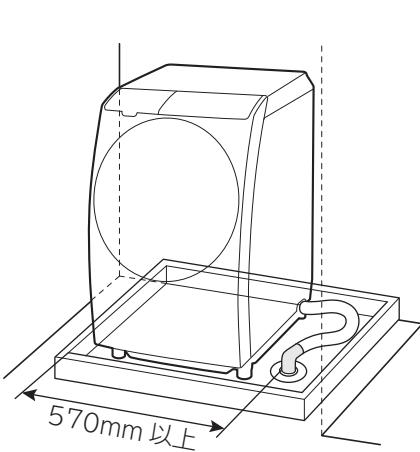
排水口がほぼ真下に
ある場合

(L) もしくは (R) が 570mm
未満かつ、ほぼ真下にない場合
→ B (P.20)

- アンダーパネルを外して、排水口に接続してください。→(P.21)

排水口の位置により、別売りの
「直下排水キット(HO-BD4)」が
必要です。→(P.28)

- アンダーパネルを外して、排水口に接続してください。→(P.21)



排水ホースの付け替え

⚠ 注意



据え付けるときは、排水ホースを本体内部でたるませない

- 内部でたるんでいると、ほかの部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。

Lパイプはしっかりと排水口へ入れる

- Lパイプは排水の水の力や振動などで動く場合があります。
排水口が大きい場合は、抜け出さないように固定してください。
Lパイプが排水配管に確実に差し込まれていないと、水漏れの原因になります。



排水ホースを本体と防水パンなどの間で挟んでつぶさない

- 水漏れ、排水不良の原因になります。

輸送用ボルトを外した状態で本体を倒さない

- 本体内部の部品が、破損や故障する原因となります。

- ホース押さえは外さないでください。
●内部のホースは溝にきちんとめ込み、浮き上がりのないようにしてください。

■排水ホースの引き出し位置を変更する

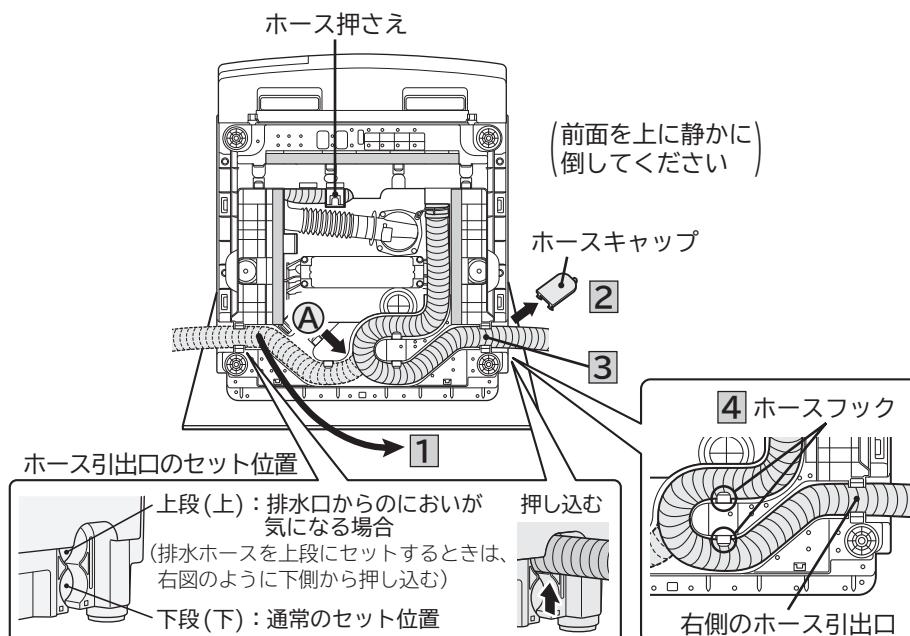
- 排水ホースは、出荷時は左側から引き出しています。
右側に変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1 本体を静かに後側へ倒す

- 本体を倒す場合は、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。

2 排水ホースを右側のホース引出口に付け替える

- 1 左側に配管してある排水ホースを①部まで外す。
- 2 右側のホースキャップを外し、左側に取り付ける。
- 3 排水ホースを右側ホース引出口(上段または下段)にはめ込む。
- 4 排水ホースを溝にはめ込み、ホースフック(2箇所)で固定する。



ご注意

- 上段と下段の間に排水ホースを挟まないでください。
排水ホース内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。
- すでに床面に排水トラップを設置している場合は、下段(通常のセット位置)にてご使用ください。
上段にセットすると、排水できなくなるおそれがあります。

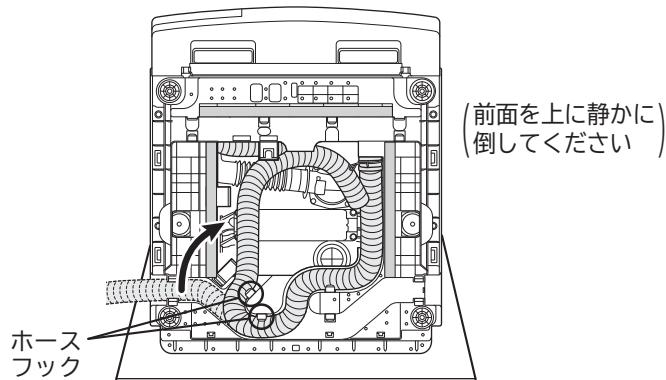
直下排水のしかた

1 本体を静かに後側へ倒す

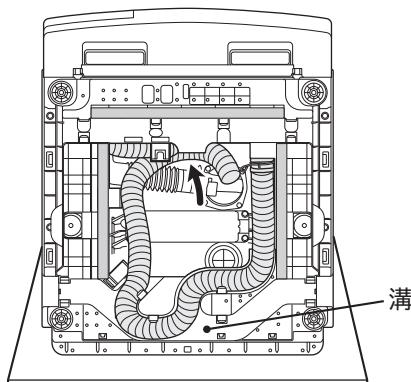
- 本体を倒す場合は、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。
- ふたに穴のついた排水トラップの場合、排水トラップカバーは事前に排水口に設置してください。〈P.16〉

2 排水ホースの引き出し位置を変更する

- 排水ホースを下図のように溝にはめ込み、ホースフック(2か所)で固定します。



3 ホース先端を本体内部に入れる



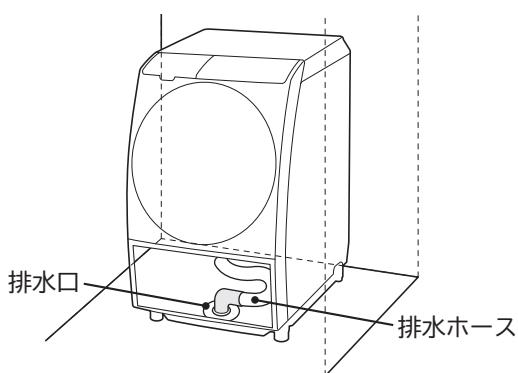
ご注意

- 輸送金具などの金属部でホースが破れないようご注意ください。
- 排水ホースが本体底部よりはみ出さないようにしてください。水漏れ、排水不良の原因になります。
- 排水ホースは、溝およびホースフックにはめ込んでください。溝を使わないと、ホース破れの原因になります。

4 本体を起こし、輸送ボルト→(P.5)とアンダーパネル→(P.21)を外す

5 排水ホースを接続する

- 排水口が据付場所のほぼ真下にない場合は、必要に応じて「直下排水キット(HO-BD4)」を使用し、本体を高くして接続してください。〈P.19〉



6 試運転→(P.27)を行い、排水ホース接続部などから水漏れがないことを確認する

7 アンダーパネルを取り付ける→(P.21)

排水ホースの接続のしかた

■排水ホースを接続する際は、下記の付属品を状況に応じて使い分けてください。

タイプ	用 途	使用するもの(付属品)
1	排水口に排水ホースを差し込む場合	
2	ふたに穴のついたエルボなし排水トラップに接続する場合	
3	排水エルボ、またはふたに穴のついていない排水トラップに接続する場合	
4	ふたに穴のついたエルボ付き排水トラップに接続する場合	
別売り部品を取り付ける場合	<ul style="list-style-type: none"> ●排水ホースの延長を行う場合→(P.18) →別売りの延長用排水ホースをご使用ください。 ●直下排水キットを使う場合→(P.19、20) →別売りの直下排水キットをご使用ください。 	

排水ホースの長さ調節のしかた

上記いずれの場合も同じ方法になりますので、タイプ1を例にとって説明します。

①排水ホースからホースカバーを外す



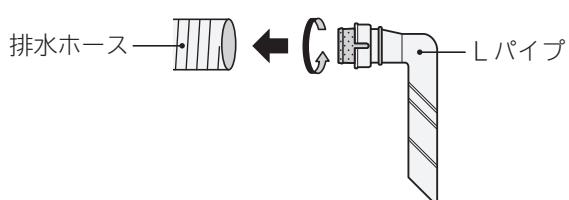
②希望の長さのところで排水ホースをはさみなどで切断する
切断面は均一にしてください。



③付属品のLパイプに同梱されている接着剤を塗布する



④接着剤を塗布したLパイプを左に回しながら排水ホースに挿入する
このとき、排水ホースをねじらないよう注意してください。
奥まできちんと挿入されていることを確認してください。

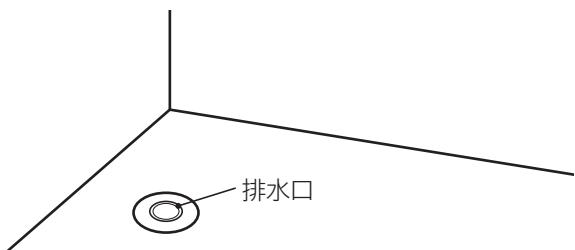


ご注意

- 接着剤を塗布していなかったり、Lパイプ外周全体に均一に塗布されていないと、水漏れの原因になります。
- 取り付け後は十分に乾燥させてください。
- 取り付け後は本体を試運転し、水漏れがないことを確認してください。

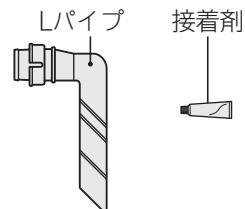
タイプ1

排水口にホースを差し込む場合



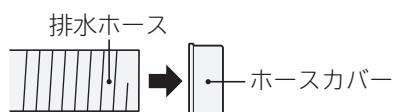
使用するもの(付属品)

- ・Lパイプ
- ・接着剤



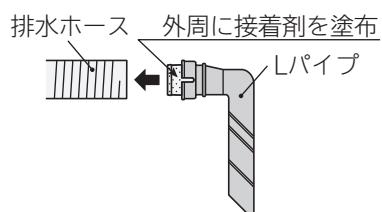
取り付け方法

(1)排水ホースからホースカバーを外す



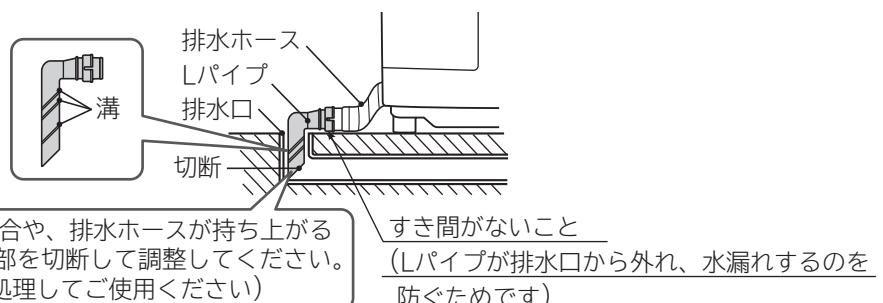
(2)付属品のLパイプの外周全体に接着剤を塗布し、排水ホースの先端に取り付ける

●排水ホースをしっかり奥まで差し込まないと、水漏れの原因になります。



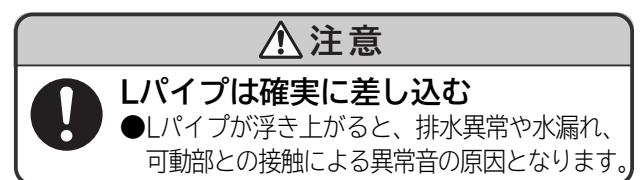
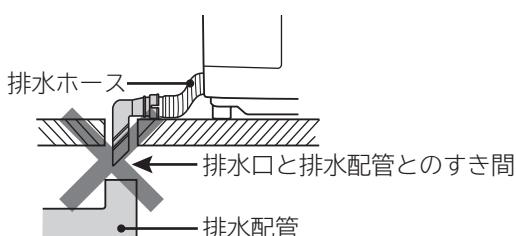
(3)排水口に差し込む

●排水ホース先端が排水配管に確実に差し込まれていないと、水漏れするおそれがあります。



■排水配管が見えない場合

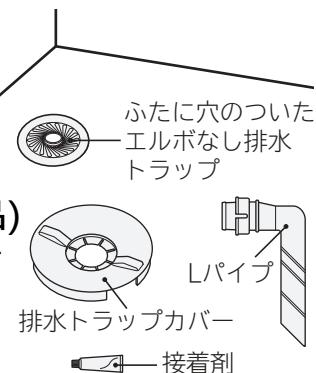
●排水配管の位置を良く確認し、排水ホース先端を排水配管に差し込んでください。
(水漏れの原因になります)



排水ホースの接続のしかた(続き)

タイプ2

ふたに穴のついた
エルボなし排水ト
ラップに接続する
場合

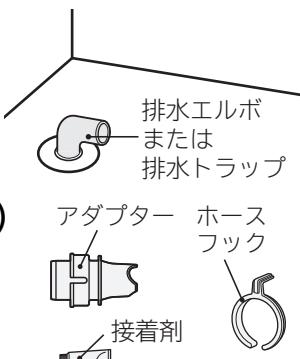


使用するもの(付属品)

- 排水トラップカバー
- Lパイプ
- 接着剤

タイプ3

排水エルボまたはふた
に穴の付いていない排
水トラップにホース
を接続する場合

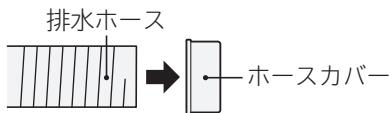


使用するもの(付属品)

- アダプター
- ホースフック
- 接着剤

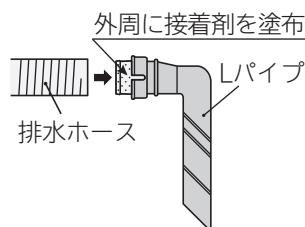
取り付け方法

(1)排水ホースからホースカバーを外す

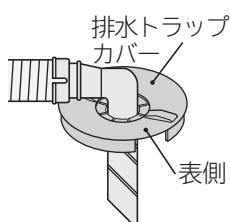


(2)付属品のLパイプの 外周全体に接着剤を 塗布し、排水ホース の先端に取り付ける

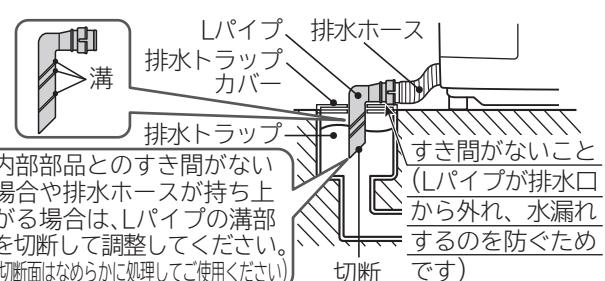
●排水ホースをしっかり奥
まで差し込まないと、水
漏れの原因になります。



(3)付属品の排水トラップ カバーをLパイプに取り 付ける (表側を上に取り付ける)



(4)排水トラップに差し込む



⚠ 注意



Lパイプは確実に差し込む

●L-pipeや排水トラップカバーが浮き上がる
と、排水異常や水漏れ、可動部との接触によ
る異常音の原因となります。先端を水の中に
入れないと、結露やにおいの原因になります。

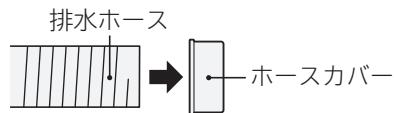


排水トラップカバーが浮き上が ないように置く

●運転中に水しぶきが上がって、周囲がぬれ
る場合があります。

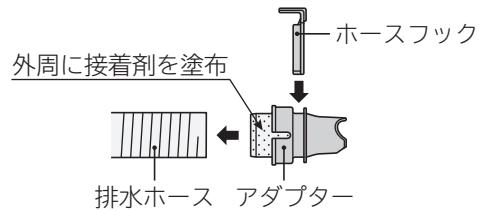
取り付け方法

(1)排水ホースからホースカバーを外す

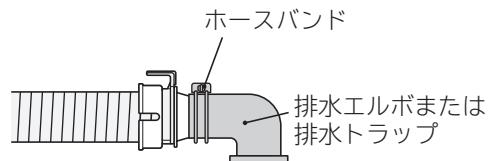


(2)付属品のホースフックをアダプターに 取り付ける

(3)付属品のアダプターの外周全体に接着剤 を塗布し、排水ホースの先端に取り付ける

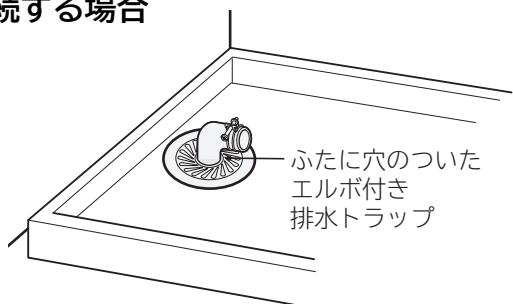


(4)排水エルボまたはトラップに接続する



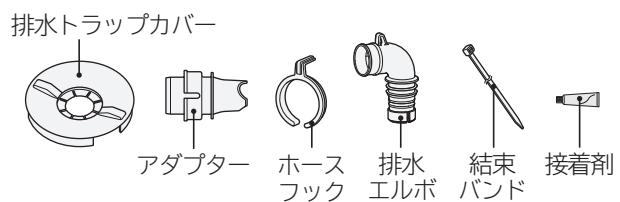
タイプ4

ふたに穴のついたエルボつき排水トラップに接続する場合



使用するもの(付属品)

- 排水トラップカバー
- アダプター
- ホースフック
- 排水エルボ
- 結束バンド
- 接着剤



取り付け方法

- (1) 排水ホースからホースカバーを外す
- (2) 排水トラップのエルボ(既存品)を外す
- (3) 付属品のホースフックをアダプターに取り付ける
- (4) 付属品のアダプターの外周全体に接着剤を塗布し、排水ホースの先端に取り付ける
- (5) 排水ホースを付属品の排水エルボに接続し、ホースフックと排水エルボの穴に、付属品の結束バンドを通して固定する

- 結束バンドがゆるいと、外れて水漏れになるおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。
- 付属品の排水エルボは、既存品のエルボに比べて糸くずなどが詰まりにくい形状となっているので、付け替えてご使用ください。
- 付属品の排水エルボが取り付けられない場合は、既存品をそのままご使用ください。

- (6) 付属品の排水トラップカバーを排水トラップの丸パイプにはめる(表側を上にしてはめる)
- 丸パイプがふたから出でていない排水トラップの場合は、排水エルボ側に排水トラップカバーをはめてください。

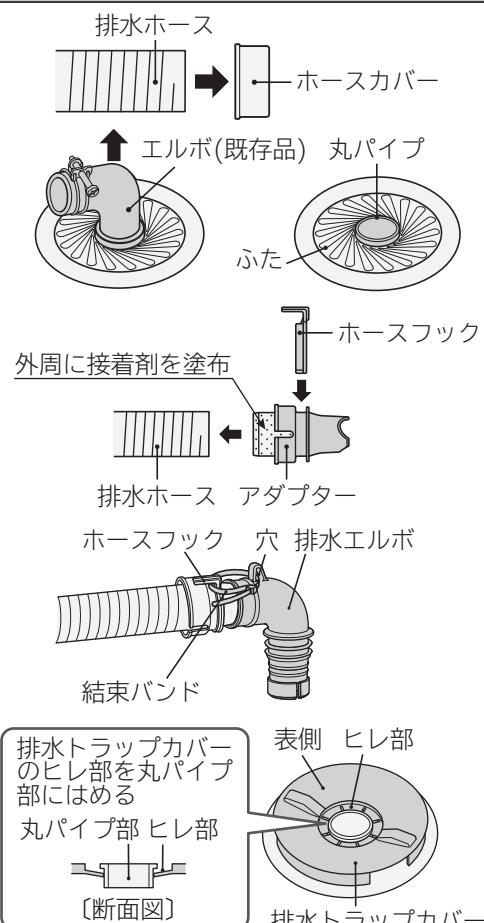
! 注意

- 排水トラップカバーが浮き上がらないように置く
- 運転中に水しぶきが上がって、周囲がぬれる場合があります。

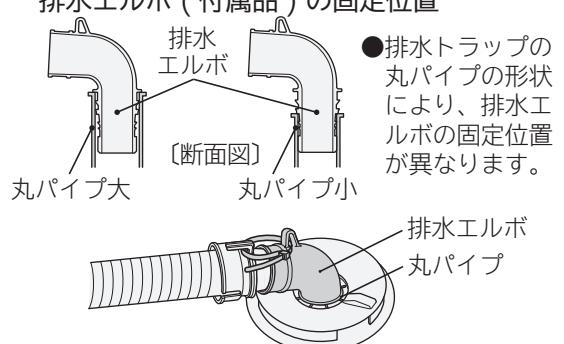
- (7) 排水ホースを接続した付属品の排水エルボを丸パイプに差し込む

! 注意

- 排水エルボを確実に挿入する
- 運転中にエルボが外れてしまい、水漏れの原因となります。



排水エルボ(付属品)の固定位置



排水ホースの接続のしかた(続き)

排水ホース関連部品

排水ホースは排水の力や振動などで動く場合があります。

排水口が大きい場合、または浅い場合は、抜け出さないように固定してください。

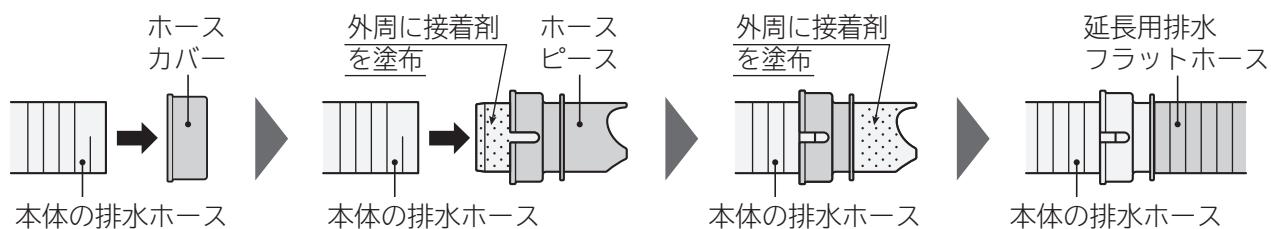
排水ホースの延長について

■排水ホースを延長するときは、別売りの延長用排水ホースをご使用ください。

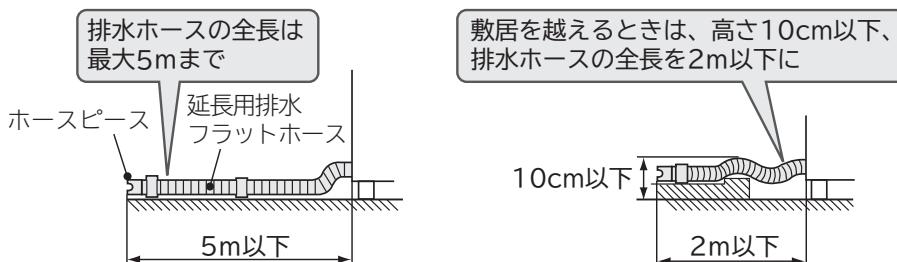
●部品番号 BD-V9500L-005 希望小売価格 1,575円 (税抜1,500円)

■接続のしかた

- 排水ホースの先端に付いているホースカバーを外し、付属品のホースピースの外周全体に接着剤を塗布し、本体の排水ホースの先端に取り付ける。
ホースピースの先端部外周全体に接着剤を塗布し、延長用排水フラットホースを接続する。
接着剤を少し乾かしてから試運転をしてください。



■排水ホースを延長するときは、排水性能が悪くならないように、次の点をお守りください。



ご注意

- 排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合や、排水口が詰まっていると、糸くずフィルターを外したときに、多量の水が漏れる場合があります。
- 市販品の延長ホースをご使用になる場合、ホースの内径が小さいと排水性能が悪くなり、正常な運転ができない場合があります。
- 排水トラップを設置している場合は、定期的にトラップ内を掃除するようにしてください。
排水トラップ内の糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。

△注意



排水ホースの高さは10cm以下にし、排水口を詰まつたままにしない

- 糸くずフィルターを外したときに、多量の水が漏れる場合があります。
- 「C02」や「C18」が表示される場合があります。

据え付けかた

■据え付けにあたっては、別売り部品の「直下排水キット HO-BD4」(希望小売価格 3,885円)をご使用ください。

[直下排水キットには、直下排水ホース・据付脚(4個)・接着剤が同梱されています]

■排水口と壁の位置に合わせて、排水ホースの引き出し位置を変えてください。→(P.12)
(出荷時は左側から引き出しています)

「防水パンがない」「排水口の壁からの距離が595mm未満かつ、排水口の位置がほぼ真下にない」場合

A

1 据付脚を置く

2 排水口に直下排水ホースを接続する

3 本体を据え付ける

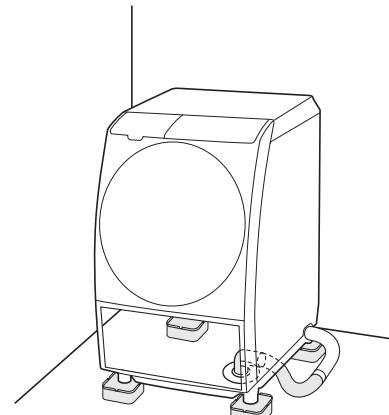
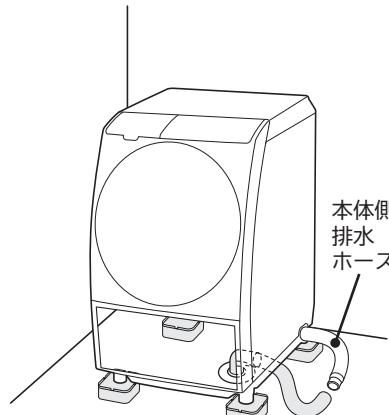
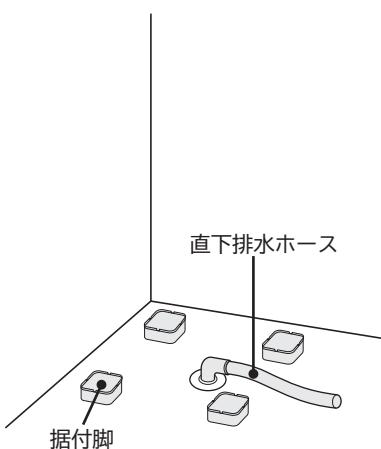
4 本体側の排水ホースの長さを調節する

●詳細は「直下排水キット」の取付説明書をご覧ください。

5 本体側の排水ホースと直下排水ホースを接続する

●接続のしかた→(P.18)

※接続のしかたは、延長用排水フラットホースの接続と同じです。



据え付けかた(続き)

■据え付けにあたっては、別売り部品の「直下排水キット HO-BD4」(希望小売価格 3,885円)をご使用ください。

[直下排水キットには、直下排水ホース・据付脚(4個)・接着剤が同梱されています]

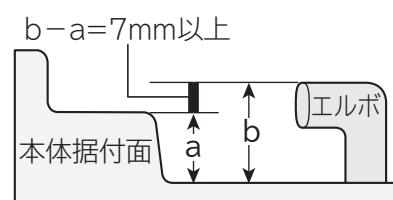
■排水口と壁の位置に合わせて、排水ホースの引き出し位置を変えてください。→(P.12)
(出荷時は左側から引き出しています)

「防水パンが設置されている」「排水口の壁からの距離が570mm未満かつ、排水口の位置がほぼ真下にない」場合

B

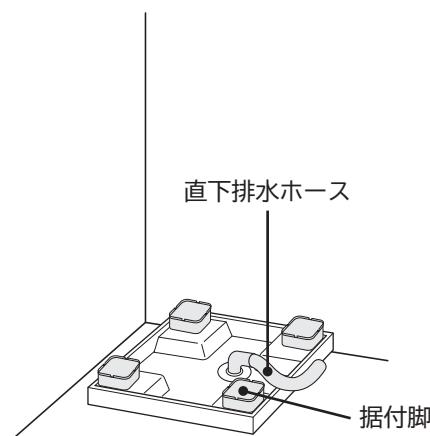
確認 排水パイプ(エルボ)がある場合には

- 排水パイプの高さ(b)が本体据付面(a)より7mm以上の場合は据付脚を置きます。
- 7mm以下の場合は②へ。



1 据付脚を置く

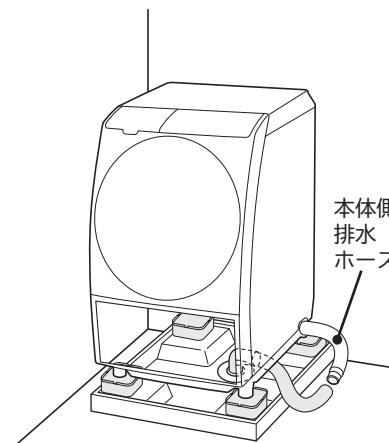
2 排水口に直下排水ホースを接続する



3 本体を据え付ける

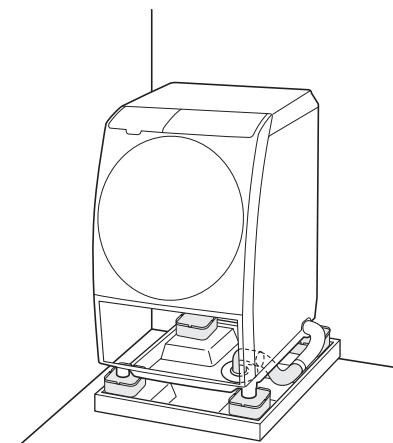
4 本体側の排水ホースの長さを調節する

- 詳細は「直下排水キット」の取付説明書をご覧ください。



5 排水ホースと直下排水ホースを接続する

- 接続のしかた→(P.18)
※接続のしかたは、延長用排水フラットホースの接続と同じです。
接続部は、防水パンの中に入れてください。



アンダーパネルの外しかた・取り付けかた

△ 注意



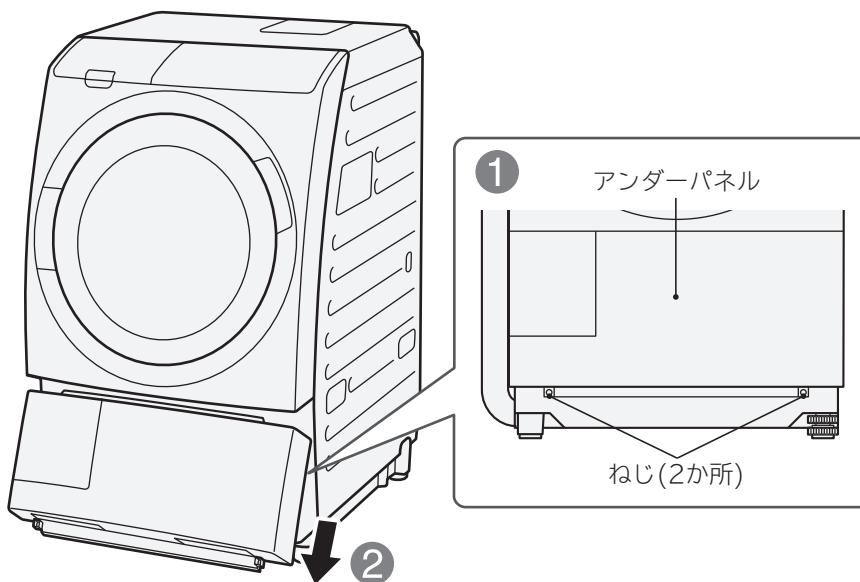
据え付け作業を行う際は、手袋を着用する

●本体内の金属部などに触れて、けがをするのを防止するためです。

外しかた

1 アンダーパネルのねじ(2か所)を外す

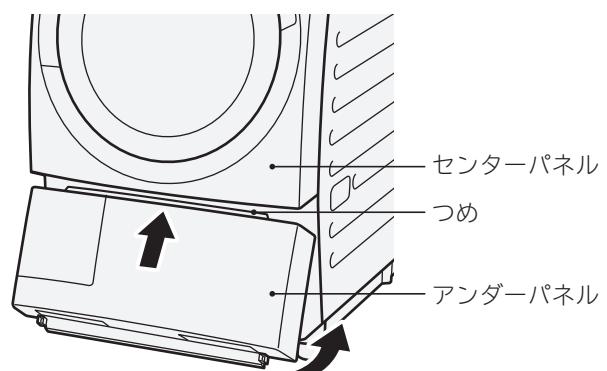
2 アンダーパネルの左右(下側)を持って、手前に引きながら、ななめ下方向へ外す



取り付けかた

1 アンダーパネルの左右を持って、アンダーパネル上側のつめを、センターパネルにはめ込み、取り付ける

2 ねじ(2か所)を締める



水平を確認する

⚠ 注意



本体を水平に据え付ける

- 水平に据え付けないと、故障や水漏れ、脱水中の停止、異常音の原因になります。



水準器を本体の内部に入れない

- 本体の故障、水漏れの原因になります。

1 本体を据え付け場所に置く

- 本体がガタつく場合は、次のように調節してください。

■調節脚側が、ガタつく場合

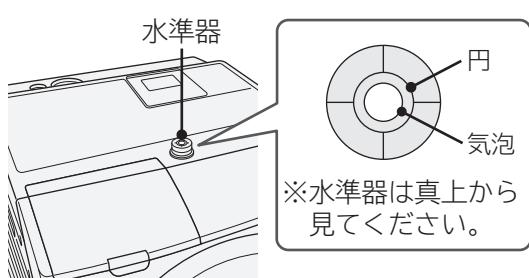
調節脚を高くしてガタつきをなくしてください。

■調節脚の反対側が、ガタつく場合

後ろ側の脚を床につけ、前側の脚と床面とのすき間に適当な板材などを敷いて、ガタつきをなくしてください。

2 付属品の水準器を下図の位置に置き、水準器の気泡の位置を確認する

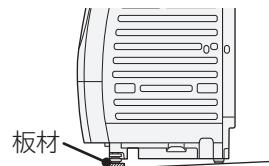
- 気泡が円内に入っている場合は脚の調節は必要ありません。



- 気泡が円内に入っていない場合は、付属品の脚キャップで高さを調節してください。

3 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に付属品の脚キャップを取り付ける (調節脚は、回して高さを調節します)

- 気泡が円から半分以上出ている場合は、床面の傾斜が大きいため脚キャップだけでは調節できません。適当な板材などを敷いてください。



4 本体にガタつきがないか確認する

- ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください。

■脚キャップについて

付属品の脚キャップは、3mm、6mm用の2種類が、各々2個と両面テープが同梱されています。必要に応じ、組み合わせて使用してください。積み重ねて使用するときは、高さの低い方を下にしてください。

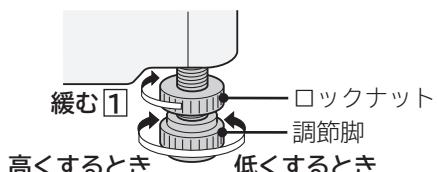
※脚キャップがゴム脚から外れる場合には、使用する脚キャップに両面テープをはり付けてください。



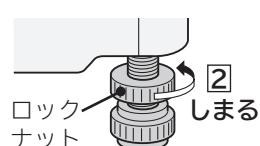
調節脚の使いかた

1 ロックナットを矢印方向①に回して緩め、調節脚を回してガタつきを調節する

- 14mmまで高さ調節ができます。



2 調節が終わったら、ロックナットを矢印方向②に回して固定する



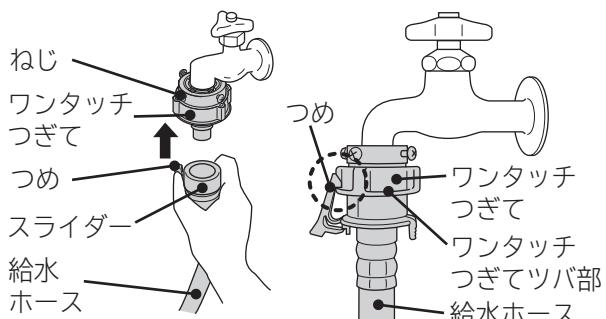
給水ホースの取り付けかた・外しかた

水栓

■取り付けかた

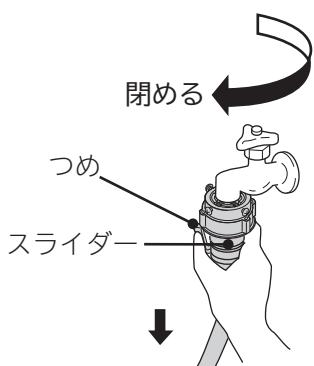
- 1 スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎに差し込む
- 2 スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる

- 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎのツバ部に確実に掛かっていることを確認してください。
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。



■外しかた

- 1 水栓を閉める
- 2 「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約10秒間運転する
 - 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。
- 3 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す



本体

■ユニオンナットの取り付けかた

ユニオンナットを矢印方向に回して、給水口にしっかりと締め付けます。

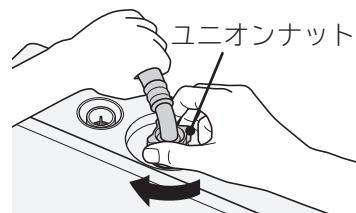
△注意



ユニオンナットはしっかりと締め付ける

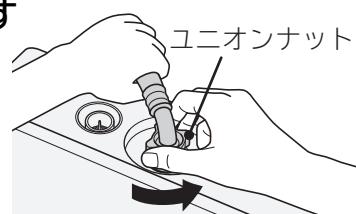
- 水漏れの原因になります。
- 長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

- 取り付け後は水栓を開けて、水漏れがないか確認してください。
- ユニオンナットが緩んでいると、水漏れします。



■ユニオンナットの外しかた

- 1 水栓を閉める
- 2 「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約10秒間運転する
 - 外すときの水の飛び散りを防ぐためです。
- 3 ユニオンナットを矢印方向に回して外す



- 給水ホースおよびワンタッチつぎでは、付属品を使用してください。
- ねじやワンタッチつぎをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎと給水ホースを取り替えてください。

給水ホース関連部品

■給水ホースの延長

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

延長作業(有料)は、販売店にご依頼ください。

■本体と水栓の距離が近いとき

短い給水ホース(0.5m)をご使用ください。

- 部品番号 NW-6SD-031

アース線の取り付け

⚠ 警告



アース線を取り付ける

- アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。
- アース接続 アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています)

■アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行ってください。

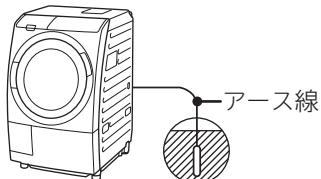
アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に接続してください。



アース端子がない場合

アース工事をしてください。



⚠ 注意



次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)

- ガス管、電話線、避雷針、水栓
水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源(コンセント)について

⚠ 警告



定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う

- ほかの器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。



傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。

テーブルタップによるタコ足配線はしない

- 発煙・発火の原因になります。

延長コードは使用しない

- 過熱し、発煙・発火のおそれがあります。

お湯取ホースの取り付けかた

- ご使用になる前に、お湯取ホースにクリーンフィルターを取り付けてください。
- 付属品のお湯取ホースは約4mです。本体と浴槽の距離に合わせて切斷してご使用ください。
 - 吸水中は水の重さによりホースが垂れ下がるので、長めに切斷してください。(効率よく風呂水を吸水するためです)

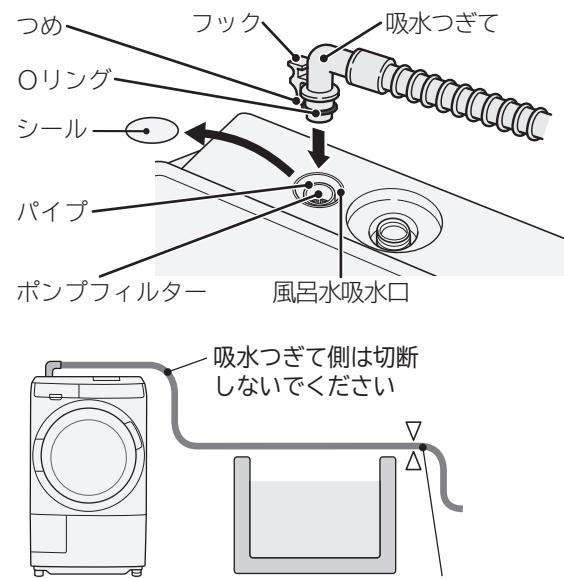
お湯取ホースの長さ調節

1 風呂水吸水口のシールを取る

- 一度はがしたシールは、風呂水吸水口に再度はり付ける必要はありません。

2 お湯取ホースの吸水つぎを、風呂水吸水口に取り付ける

- 吸水つぎのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- 入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
- Oリングを外したり傷つけないでください。
外すと空気が入り込み、吸水できなくなります。
- 風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。

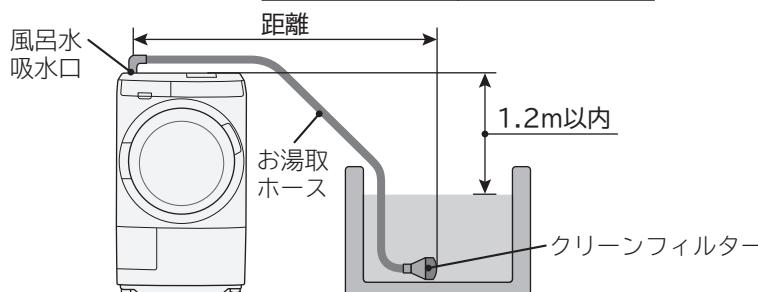


3 ホースの先端を浴槽に入れ、ホースの長さを調節する(付属のお湯取ホースは約4mです)

風呂水吸水口からクリーンフィルター先端までの距離が3m以内になるように、ホースの先端側をはさみやカッターで切斷します。

別売り部品の場合

お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内



※付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売りのお湯取ホースをご利用ください。

●約7mホース

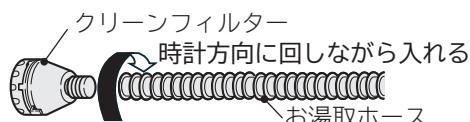
部品番号NW-7P5-045
希望小売価格1,890円(税込)

●約5mホース

部品番号NW-7P5-046
希望小売価格1,785円(税込)

4 クリーンフィルターをお湯取ホースに取り付ける

- ホースを時計方向に回しながら入れます。
ホースの内側に水をつけると入れやすくなります。

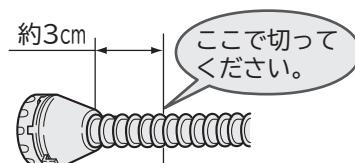


■クリーンフィルターの取り外しかた

- クリーンフィルターは一度取り付けると手で簡単に外せません。
ホースの長さの再調節のためにクリーンフィルターを取り外すときは、次に従ってください。

1 ホースを切斷する

- クリーンフィルターの根元から約3cmの所でホースを切斷します。



2 クリーンフィルターに付いているホースを取り除く

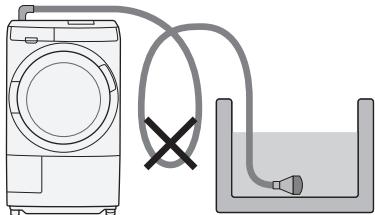
- ホースの先端に約1cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらホースを取り除きます。



お湯取ホース使用時のご注意

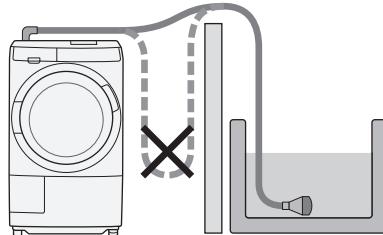
余分なホースを巻いたまま使用しない

- ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。



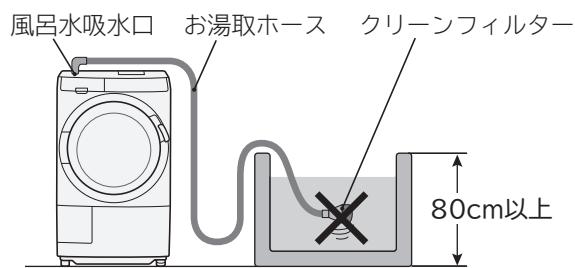
高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす

- ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。



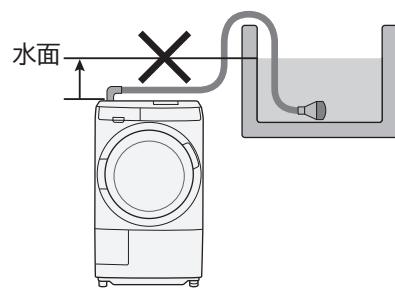
クリーンフィルターが浮き上がらなようにする

- 浴槽の高さが床面から80cm以上の場合には、垂れ下がったホースの重みで、クリーンフィルターが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。



風呂水吸水口よりも浴槽の水面のほうが高い場所では使用しない

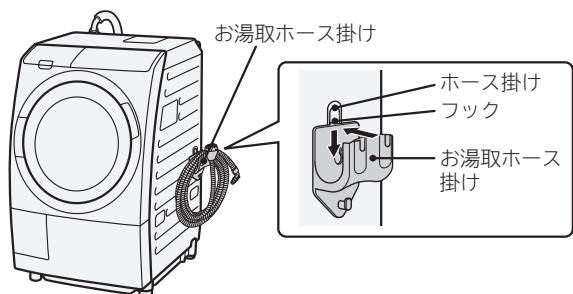
- サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が止まらず、水漏れの原因になります。



お湯取ホース掛けの使いかた

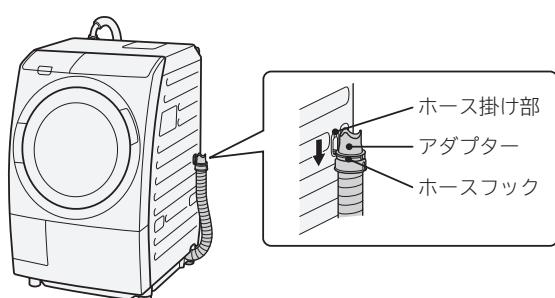
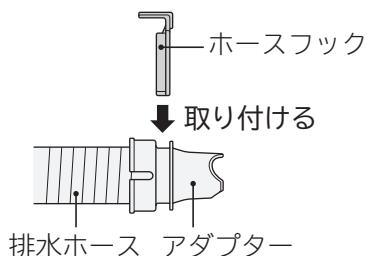
■お湯取ホース掛けの取り付けかた

- お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて止まるまで押し下げてください。
本体の左右どちら側でも取り付けられます。



排水ホースの掛けかた

■排水ホースを本体へ掛けるときは、付属品のホースフックをアダプターに取り付けて、本体のホース掛け部へ掛けてください。



試運転

■設置後は下記手順により試運転を行い、異常音、ホース取り付け部からの水漏れや、排水ホース先端が排水口などから抜けていないかなどを確認してください。

BD-ST9600の試運転のしかた

1 [スタート一時停止] を押した状態で、電源 [入] を押す

起動画面表示中は、スタートボタンのみを押し続けてください。起動画面からコース画面に切り替わったときにブザー(長音)が鳴ります。

BIG DRUM

2 [洗濯] をタッチし、[スタート一時停止] を押す

運転が始まり、約6分後に自動で停止します。



3 水栓をゆっくりと開ける

洗濯乾燥機に急激な水圧をかけないためです。

BD-S8600の試運転のしかた

1 電源を入れ、[脱水] と [予約] を同時に3秒以上押す

表示部に「777」が表示されます。

2 [スタート一時停止] を押す

運転が始まり、約6分後に自動で停止します。

3 水栓をゆっくりと開ける

洗濯乾燥機に急激な水圧をかけないためです。

運転行程	時間	確認のポイント
① 洗剤量計測	約20秒	・洗剤量表示(3秒間表示)が出ますか
② 給水	約40秒	・給水されているか ・接続されるホース(給水ホースなど)から水漏れがないか
③ 排水	約20秒	・きちんと排水されているか ・接続されるホース(排水ホースなど)から水漏れがないか
④ 乾燥	約200秒	・送風音がするか ・異常音がないか ・周囲の配管から、空気や湿気が漏れていないか
⑤ 排水トラップ水ため動作	約70秒	・排水トラップに水がたまっているか

※時間は、水道水圧や排水状態により変動します。

- 終了のメロディーが鳴り、自動で電源が切れます。
- 運転終了後に、給水ホース接続部や洗濯乾燥機から水漏れして、ドアの周りや床面がぬれていなかを確認してください。
- 洗面台の横に洗濯乾燥機を設置している場合には、洗面台の扉を開けて、洗面台の配管から空気や湿気が漏れていなかを確認してください。

漏れている場合には、除湿方式を「水冷除湿方式」に変更してください。→(取扱説明書「便利な使いかた」)

ご注意

本製品は、乾燥運転中に排水ホースから湿気を排出するため、配管経路に穴が開いていると、乾燥運転中に湿気が配管の穴から部屋の中に出てしまい、床や壁を傷めてしまうおそれがあります。

特に、洗面台の横に洗濯乾燥機を設置している場合は、洗面台の下の配管に穴が開いていないかを、試運転時に確認してください。

! 注意

水栓をゆっくりと開ける

給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

洗濯前に、水栓を開いて水漏れがないか確認する

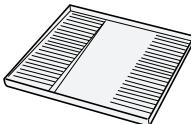
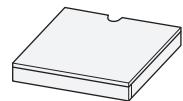
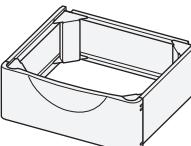
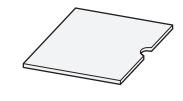
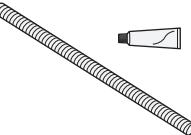
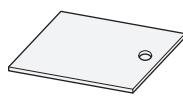
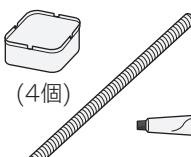
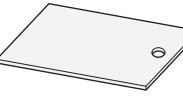
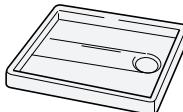
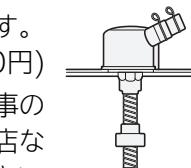
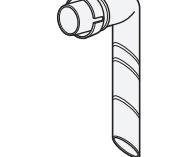
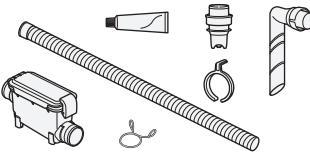
ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯乾燥機据え付け後や移設後など、水栓接続を変えたあとや洗濯・乾燥前は、水栓を開いて水漏れがないか確認する

接続部が緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。また、長期間使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格は、2013年10月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

<p>■洗濯機用トレー(YT-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●結露による水滴から床を守ります。 希望小売価格 7,350円 (税抜7,000円) 		<p>■補強板(HSB-600)※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置面が弱いとき(防水パンがなく、直下排水するとき)に使用します。 希望小売価格 11,550円 (税抜11,000円) 	
<p>■置台(TR-BD2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●洗濯物をより取り出しやすくするため、本体を高くするときに使います。 希望小売価格 15,750円 (税抜15,000円) 		<p>■補強板(HSB-630)※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据え付け面が弱いとき(幅640mmタイプの防水パンを使用するとき)に使用します。 希望小売価格 8,400円 (税抜8,000円) 	
<p>■延長用排水フラットホース(約83cm) (部品番号 BD-V9500L-005)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水ホースの延長用に使用します。 希望小売価格 1,575円 (税抜1,500円) 		<p>■補強板(HSB-790)※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据え付け面が弱いとき(幅800mmタイプの防水パンを使用するとき)に使用します。 希望小売価格 8,400円 (税抜8,000円) 	
<p>■直下排水キット(HO-BD4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望小売価格 3,885円 (税抜3,700円) 		<p>■補強板(HSB-890)※</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据え付け面が弱いとき(幅900mmタイプの防水パンを使用するとき)に使用します。 希望小売価格 8,400円 (税抜8,000円) 	
<p>■据付脚(GO-BD2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望小売価格 2,100円 (税抜2,000円) 		<p>■洗濯機用防水パン(TP-780)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体からの水漏れや、結露による水滴から床を守ります。 希望小売価格 12,600円 (税抜12,000円) 	
<p>■洗濯機用排水トラップ(YT-T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水口からの逆流やにおいを防ぎます。 希望小売価格4,200円 (税抜4,000円) 排水トラップの取り付けには住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店などにご相談のうえ、お買い求めください。 		<p>■Lパイプ (部品番号 BD-V3500L-002)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水口の穴が小さく、排水ホースが入らない場合に使用します。 希望小売価格 525円 (税抜500円) 	
<p>■糸くずボックス(WLB-5) (同梱排水ホース:長さ83cm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排水ホースにトラップを取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集めて取り除きます。 希望小売価格2,520円 (税抜2,400円) 			

※補強板を使用するときは、別途延長用排水ホースが必要となる場合があります。

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

